



第 36 号 千 町 田

6次産業化の進行状況

企画部長 坂田 宣雄

通常総会にて報告いたしました中期プランの「6次産業製品化」について今年度の取組みとして製品化の検討についての途中経過を報告いたします。

当法人で生産されている作物からの品目の検討の結果、主力作物である米を「米粉」として活用することで検討を始め、「島根県6次産業化アドバイザー派遣事業」を活用して6次産業化プランナーを派遣いただき、その方の助言のもと米粉を使った製品の製作について検討を進めております。

管理棟が新築完成し製品開発に使用可能な場所も確保できましたので、今後いろいろな製品を試作検討出来るかと考えております。その場所を使用して、まずは現在プランナーから助言を



いただいている米粉パンの作成を始めていと考えております。原料を含め製作にかかるための準備は出来ました。今後実際に試作にかかり、それに係る設備投資の算出額と収支シミュレーションについて検証し、今期中に販売可能な品物が出るかの検証を行なう予定にしております。まずは試作品を作っていくことが必要となります。このことを最重要課題としてチャレンジいたします。

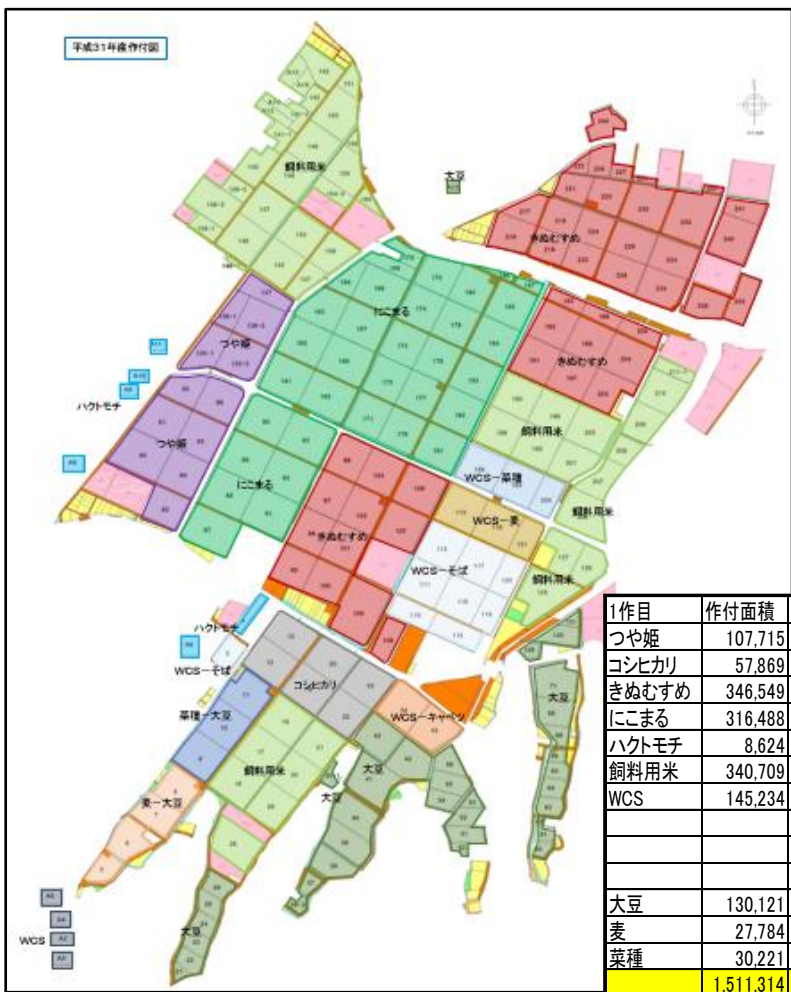
米粉を選んだ理由として、近年小麦アレルギーが問題となり小麦粉を使用した製品を区別する時代となったことがあります。今回小麦は一切使用しないグルテンフリーの製品開発を目指しており試作にはかなりの時間を要するものと思います。まず試作品を作り組合員の皆様に試食いただけるように

したいと考えております。つきましては、組合員の皆様におかれましては、いろいろな知識をお持ちの方がおいでになると思います。6次産業化を進めるにあたりご意見ご助言などいただきますようお願い申し上げます。



今年度作付計画

今年度の作付計画が決まりました。春作業の準備も始まり、種まきなどの出役のお願いも来ていると思います。組合員の皆様のご協力をお願いいたします。





建設を進めていた管理棟、農業倉庫が2月に竣工しました。プレハブの建物も移動撤去し、のきの郷の敷地内は大きく模様替えとなりました。

30年産収量実績

平成30年産の収量実績をお知らせします。米の収量は品種によりばらつきはありますが平年並みでした。

小麦、そばは収量減となり、菜種は収量が増え搾油量も上がりました。



分類		反収
うるち米	つや姫	9.5 俵
	コシヒカリ	9.1 俵
	きぬむすめ	8.5 俵
	にこまる	7.2 俵
もち米		7.5 俵
飼料用米		718 kg
小麦		168 kg
そば		38 kg
菜種		65 kg
大豆		151 kg

トマト	収穫量	5.6 t
	製品歩留	91.5 %
キャベツ	出荷量	103 t



第6期通常総会開催

2月17日(日)能義交流センターにおいて第6期通常総会を近藤安来市長、安来市農林振興課、松江普及部安来支所、JAやすぎ地区本部より来場いただき開催しました。出席40名と書面議決書の提出があり協議、報告を行い無事終了することが出来ました。組合員の皆さんよりご質問ご意見をいただき、今後の経営に生かしていきたいです。ご協力いただきありがとうございます。



参与の役割

昨年より新たに参与という役割を新設しました。主にトマト栽培やキャベツ栽培の技術サポートを行い、また中期プランのアドバイザーもお願いしています。30年産トマトの黒字化には大いに貢献していただきました。

保有米・縁故米申込み

2019年産保有米・縁故米の申込書を配布しています。4月中旬に申込みいただけますようお願いいたします。引渡時期は品種により異なります。収穫の具合により前後しますので、あらかじめご了承ください。

引渡時期

- ◇つや姫、コシヒカリ 9月中旬
- ◇きぬむすめ、にこまる、もち米 10月中旬

平成29年産なたね油を値下げします。賞味期限は今年9月～11月です。この機会に是非ご賞味いただけますようお願いいたします。なお30年産なたね油も合わせて販売しています。お気軽にお声掛けください。また、贈答用に箱詰め包装のし掛けも承りますのでご利用ください。

☞ちよっこし聞いて☞

桜の季節となりました。そして春作業も始まります。春はなんだか賑やかですよ。 (さ)

